

審判講習会 参加報告書

平成 29 年 4 月 22 日

報告者 丸井 麻記子

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	第 7 回関東 CUP
参加者 (報告者)	丸井 麻記子
期 日	平成 29 年 4 月 8 日 (土) から 平成 29 年 4 月 9 日 (日)
会 場	さいたま市記念総合体育館
講 師	杉山兼芳氏 齋藤登氏
参加者	関東、東北地区審判員他
報告① <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	<input type="checkbox"/> ゲーム 宮城マックス VS LAKE SHIGA 主審 一箭良枝 副審 二階堂俊介 副審 丸井麻記子 (報告者) コート主任 松元健氏 ■ミーティング内容 ・新マニュアルの徹底 ・プライマリとセカンダリの確認 ・早い段階でゲームを捉える 主任より WSR におけるセンターの位置取り。移動とアングルの変え方をご指導いただいた。判定できたものの中でゲームレベルを考え、取り上げなくてもよかったケースを憶えておくこと。また、判定できなかったものの位置取りはどうだったか、プレーの最初から捉えられていたのかを整理し次のゲームで生かすようアドバイスをいただいた。
報告② <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)	<input type="checkbox"/> ゲーム 宮城 MAX VS 神戸 STORKS 主審 立田裕志 副審 二階堂俊介 副審 丸井麻記子 (報告者) コート主任 杉山兼芳氏 ■ミーティング内容 ・新マニュアルの徹底 ・トランジション中のセンターとニュートレールの動き ・ベンチと選手の管理 主任より クォーター、ハーフの間を利用して講師よりご指導いただいた。トーレールの位置はスリーポイントの頂点とスロー・イン・ラインを結んだ辺りに位置し、リードの位置取りを確認しつつアングルを変えプレーを捉える。リードは近づきすぎる傾向にあるので、SSR においてノーウォーキングエリアの端より 1 m 外辺りまでで留めまる。など具体的にアドバイス

	をいただいた。
所感	<p>今回、初めて東日本でのゲームを体験させていただくにあたり、自分自身に何ができるのかと思悩みました。私にできることは限られていて、今まで経験したことのないスピード感やゲームへの恐怖がありました。この大会に参加するにあたり、こんなことを言ってくださった方がいます。「暴れてきなさい。」と。私的にこの言葉を解釈するに「あなたなりに挑戦してきなさい」ということなのだと思った時、自分にできることは限られているが、オンザコートでプレーを観て、感じて、笛に表すことはできるのだと考え直しました。</p> <p>実際、参加して出来たこと、出来なかったことはありますが、新たに「挑戦」出来たことは私にとって成長につながった大きな出来事となりました。</p> <p>さて、全国障害者スポーツ大会まで、あと半年ばかりとなりました。5月末に控えるリハーサル大会では、今回経験させていただいたことを生かせるよう、さらに研鑽を積み重ねて挑戦したいと思っています。どうか、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。</p> <p>最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただきました皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。